



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場会社名 株式会社東栄リーファーライン 上場取引所 東
 コード番号 9133 URL <http://www.toeireefer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本田 英樹 TEL 03-5476-2085
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,933	13.5	453	33.0	483	30.0	340	11.5
28年3月期第3四半期	5,227	△27.4	340	△43.3	371	△46.0	304	△35.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 354百万円 (35.8%) 28年3月期第3四半期 260百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	60.02	—
28年3月期第3四半期	52.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	12,159	4,710	38.7	850.91
28年3月期	12,140	4,509	37.1	776.14

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,710百万円 28年3月期 4,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期（予想）				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	4.9	600	18.8	600	9.8	450	4.9	79.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	6,050,000株	28年3月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	514,756株	28年3月期	239,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	5,666,244株	28年3月期3Q	5,810,291株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(2) 四半期連結貸借対照表	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費に力強さを欠くものの、雇用情勢や所得環境は改善が続き、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は売上高は貿易事業でのまぐろ類の販売数量増大、利益につきましては海運事業での効率運航徹底及び燃料費圧縮などの結果、売上高59億3千3百万円（前期比7億6百万円 13.5%増）、営業利益4億5千3百万円（前期比1億1千2百万円 33.0%増）、経常利益4億8千3百万円（前期比1億1千1百万円30.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4千万円（前期比3千5百万円 11.5%増）となり、計画を着実に推進しております。

当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

(百万円)	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	増減率(%)
売上高	5,227	5,933	13.5
営業利益	340	453	33.0
経常利益	371	483	30.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	304	340	11.5

また、主なセグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	増減率 (%)
海運事業	売上高	2,596	2,760	6.3
	セグメント利益	502	571	13.6
貿易事業	売上高	1,281	1,953	52.3
	セグメント利益	54	90	67.2
洋上給油事業	売上高	934	817	△12.5
	セグメント利益	32	52	61.5
船舶貸渡事業	売上高	414	401	△3.0
	セグメント利益	△30	△17	—

① 海運事業

海運事業につきましては、新造船豪太丸の本格稼動及び効率運航の徹底ならびに燃料油価格前期比下落などにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、まぐろ類の販売数量増大が寄与するとともに、台湾子会社の外部売上及び利益が事業強化策の着実な進捗により増加し、前年同期と比べ増収増益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、燃料油価格前期比下落に伴う販売単価低下により減収となりましたが、コスト削減ならびに販売数量の増加などにより、セグメント利益は前年同期と比べ増益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、前年同期と比べ円高の影響により減収となったものの、セグメント損失につきましてはドック費用計上がなかったことなどにより圧縮されました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1千9百万円増加し、121億5千9百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千6百万円減少し、58億3千3百万円となりました。これは、短期貸付金4億2千1百万円などが増加したものの、商品及び製品4億6千6百万円及びその他に含まれる立替金1億7千7百万円などが減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加し、63億2千6百万円となりました。これは、有形固定資産で船舶が3億9千6百万円減少したものの、投資その他の資産で長期貸付金6億1千1百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億8千万円減少し、74億4千9百万円となりました。これは、流動負債で海運業未払金及び買掛金2億2千4百万円、預り金3億6千6百万円などが増加したものの、固定負債で長期借入金7億8千2百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億円増加し、47億1千万円となりました。これは、自己株式の取得により8千4百万円減少したものの、利益剰余金が2億7千万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末より1.6ポイント上昇し38.7%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期（連結・個別）の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表した通期業績予想に変更はありません。

配当予想につきましても期末12円配当に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
海運業収益	3,010,564	3,162,141
海運業費用	2,349,927	2,401,842
海運業利益	660,637	760,299
貿易業収益	1,281,776	1,953,192
貿易業費用	1,132,988	1,778,365
貿易業利益	148,787	174,827
洋上給油事業収益	934,851	817,985
洋上給油事業費用	899,812	763,256
洋上給油事業利益	35,039	54,729
売上総利益	844,463	989,856
販売費及び一般管理費	503,979	536,850
営業利益	340,484	453,006
営業外収益		
受取利息	60,916	61,397
受取配当金	3,192	2,524
為替差益	7,675	7,458
その他	8,589	5,443
営業外収益合計	80,373	76,824
営業外費用		
支払利息	40,657	37,060
その他	8,272	9,196
営業外費用合計	48,929	46,256
経常利益	371,928	483,574
特別利益		
投資有価証券売却益	25,069	2,607
特別利益合計	25,069	2,607
特別損失		
固定資産除却損	174	—
特別損失合計	174	—
税金等調整前四半期純利益	396,823	486,181
法人税、住民税及び事業税	6,099	121,211
法人税等調整額	85,792	24,855
法人税等合計	91,891	146,066
四半期純利益	304,931	340,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,931	340,114

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	304,931	340,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,741	6,151
繰延ヘッジ損益	△47,157	4,958
為替換算調整勘定	△2,633	3,100
その他の包括利益合計	△44,050	14,210
四半期包括利益	260,881	354,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,881	354,324
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319,415	2,276,368
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,063,611	1,142,517
商品及び製品	471,754	5,405
原材料及び貯蔵品	193,907	247,688
その他	1,973,209	2,164,834
貸倒引当金	△1,734	△3,167
流動資産合計	6,020,163	5,833,646
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	5,009,181	4,612,305
その他（純額）	13,661	12,520
有形固定資産合計	5,022,842	4,624,825
無形固定資産	29,749	19,771
投資その他の資産		
長期貸付金	689,546	1,300,605
その他	378,458	381,928
貸倒引当金	△482	△910
投資その他の資産合計	1,067,521	1,681,623
固定資産合計	6,120,114	6,326,221
資産合計	12,140,277	12,159,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	639,048	863,176
短期借入金	1,219,374	1,167,684
1年内償還予定の社債	30,000	20,000
未払法人税等	34,749	104,639
賞与引当金	75,694	61,319
役員賞与引当金	40,000	—
その他	466,295	860,061
流動負債合計	2,505,161	3,076,880
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	4,869,719	4,087,306
特別修繕引当金	21,033	70,670
退職給付に係る負債	148,805	148,477
その他	65,975	66,497
固定負債合計	5,125,533	4,372,951
負債合計	7,630,695	7,449,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,000	890,000
資本剰余金	961,593	961,593
利益剰余金	2,669,636	2,940,028
自己株式	△49,181	△133,331
株主資本合計	4,472,047	4,658,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,509	43,660
繰延ヘッジ損益	△6,397	△1,438
為替換算調整勘定	6,422	9,522
その他の包括利益累計額合計	37,534	51,744
純資産合計	4,509,582	4,710,034
負債純資産合計	12,140,277	12,159,867

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,596,128	1,281,776	934,851	414,436	5,227,192	—	5,227,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,596,128	1,281,776	934,851	414,436	5,227,192	—	5,227,192
セグメント利益 又は損失（△）	502,459	54,288	32,715	△30,981	558,483	(217,998)	340,484

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額217,998千円には、セグメント間取引消去13,950千円、各報告セグメントに配分していない全社費用231,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、新船が竣工し、当該船舶を取得いたしました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「海運事業」において1,950,495千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,760,392	1,953,192	817,985	401,749	5,933,320	—	5,933,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,760,392	1,953,192	817,985	401,749	5,933,320	—	5,933,320
セグメント利益 又は損失（△）	571,108	90,785	52,842	△17,696	697,039	(244,032)	453,006

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額244,032千円には、セグメント間取引消去13,950千円、各報告セグメントに配分していない全社費用257,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。